

ファイナルレポート

『第32回IDS国際デンタルショー2007』ケルン

2007年3月20日(火)～24日(土)

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

世界を主導するデンタル・メッセは、あらゆる点で記録破り：前年を上回るビジター数、出展企業、展示面積

専門ビジター10万人* (150カ国); 出展企業1742社 (54カ国); 展示面積13万㎡;
IDS参加者は、プログラムの豊富さ、ビジターの数と質に感銘。

ビジターの数が増え、約6%増加してほぼ10万人となったIDS - 第32回国際デンタルショー - 世界最大の歯科医療・歯科技術のメッセは、3月24日、ケルンで5日間の会期を終えました。このメッセは国際性が非常に高く、専門ビジターの35%は海外150カ国から来訪しています。出展企業の62%は外国の企業で、54カ国から参加しています。このように、ケルンにおいて隔年開催されるIDSは、今回もあらゆる面で記録的なメッセとなりました。出展企業数は200社増え1742社に、展示面積は10万7000㎡から13万㎡に増えました。ドイツ歯科工業会(VDDI)のDr. マーティン・リカルト会長は次のように結論づけます。「このメッセはこれまでも素晴らしい成功を遂げ、いつも前回のメッセを上回る成果をあげています。ビジターも出展企業もIDSに感嘆しています。このような規模と質で需要側と供給側が出会う場所は、他に無いからです。IDSには、世界中から業界のすべてが集います。このメッセは、歯科医師、歯科技工士、歯科産業、歯科専門販売会社にとって、間違いなく最も重要な催しです。」ケルン見本市のオリバー・クアト副社長もこれに補足し「IDSは参加者を魅了します。出展企業には多くの受注が入り、ビジターは広範で豊富な商品展示を歓迎しました。南ゲート、メッセ大通り、ピアッツァなど、ケルンメッセ会場の新しいインフラは、最高の評価を受けました」と述べています。

あるIDS出展者は出展企業を代表し、「ビジターが次々と来訪する様子は、本当に素晴らしかった」と、多くのビジターが殺到したことを総括しています。しかし素晴らしかったのはビジターの数だけではありません。「ビジターの質でも今年のIDSは最高だった」という声が、多くの出展企業から寄せられています。来訪者を対象とする中立的調査が、この印象を裏付けています。今年のIDS訪問者のうち37%は、調達において決定的な影響力を持っていると答えています。2005年にはこの割合は32%でした。全体ではほぼ84%が調達に関わるビジターでした。各展示ブースは、世界中から歯科業界に関係するあらゆる職種の人々が来ていた、と回答しています。その中で最も多かったのが、歯科開業医、歯科関係の販売会社、歯科産業、歯科技工所であり、また各学校や大学も多く来ていました。アンケートに応じたビジターの33%以上は、店舗、企業、会社の経営幹部でした。

来訪者の81%以上は展示内容に満足、あるいは非常に満足だと答え、ほとんど全員が、IDSは「推奨する価値がある」と評価しました。さらに、96%が、仕事仲間に「必ず」または「たぶん」IDSを推奨するだろうと答えました。また、約80%はもう今から、2009年のIDSに「必ず」または「たぶん」来る事を決めています。

国際性が最も高かった2007年のIDS 出展企業の売上げは最高に

「今年のIDSはこれまでで最も国際性豊かだった」というある出展企業のコメントは、多くの賛同を集めています。公式データによれば、54カ国から出展した企業のうち62%が外国企業で、150カ国から来たビジターのうち35%が、アルゼンチン、ブラジ

ル、日本、韓国、エジプト、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパ各国、アメリカ、カナダなど、外国からの来訪者でした。

2007年のIDSの来訪者数で顕著な伸びを見せたのは、EU諸国、東欧、中央アメリカ、南アメリカなどでした。多くの企業では販売チームの国際化を強めており、2009年のIDSに向け、すでに国際化の準備に入った販売チームもあります。

経済的観点からは、2007年のIDSでは多くの企業が非常に良い成果をあげました。「売上げは2005年より大幅に増えた！」と、多くの出展企業がコメントしています。例えばある企業は見本市2日目ですでに、前回の見本市の総売上げだった百万ユーロ近くを達成しました。また、コミュニケーションとコンタクトの場としても、IDSはトップの座にある事が確認されました。出展企業は、活発に新しいコンタクトが行われ、展示された革新的技術に対するビジターの関心も高かった、と話しています。

出展企業もビジターも、メッセに向けた準備状況がさらに改善

13万㎡という記録的な総展示面積、そして2005年の展示会場に加え、ホール3.2と4.2が追加された事には、新規出展企業250社だけでなく、従来からのIDS参加企業も寄与しています。今年展示ブースの拡張を決定した事は、十分に価値があったと言えます。出展企業は「より大きな注目を得ることが重要だった」と述べています。また多くの企業は、今年はビジター側も視察準備をさらに入念に行っていた、と述べています。この点では特に、VDDI/GFDIとケルンメッセが見本市開催前から提供してきた、オンライン・プログラムが役立っているという事です。その例としては、オンラインショップのほか、ビジネス・マッチングなどのツールが挙げられていました。また、IDS参加者が非常に満足していたのは、新しくなったメッセ会場です。「新しい南ゲートは、来訪者を招きいれるような印象で、オープンエアのピアツァは、悪天候にもかかわらず良く利用されていました」とのコメントがありました。またロジスティックも、良い評価を得ました。

ドイツ連邦歯科医師会 (BZAK): IDSのコンセプト、国際性、規模に非常に満足

「私は魅了された！」という言葉で、ドイツ連邦歯科医師会会長のDr. ユルゲン・ヴァイトカンブ氏は、2007年のIDSを総括しました。Dr. ヴァイトカンブはさらに、全体のコンセプト、国際性、メッセの規模が非常に満足のいくもので、IDSは細部まできめ細かに良く計画されていたと述べ、歯科医は革新技術に強く印象づけられた、としています。Dr. ヴァイトカンブは「私たちの日々の仕事の助けとなる、多くの小さな改善アイデアが見られた」と述べ、「このような世界的な催しがドイツで行われることを、嬉しく思います。今年来なかった歯科医は、2009年に来られるように、今から医院のスタッフと計画を立てるべきです」とまとめています。Dr. ヴァイトカンブは、ドイツ連邦歯科医師会の合同ブースで行われた情報交換や議論の主要テーマのひとつとして、ドイツの医療制度の現況を挙げました。ドイツの歯科医は、成長市場である医療分野に政治が常に規制をかけ苦しめるにもかかわらず、好奇心や、イノベーションを探究する心を失っていない、ということです。

ドイツ歯科技工士同業組合 (VDZI) は2007年のIDSに非常に満足

ドイツ歯科技工士同業組合 (VDZI) 会長のユルゲン・シュヴィヒテンベルク氏も同じく、IDSには非常に満足の様子です。「ドイツの歯科技工技術の強みと能力を紹介するのに、この見本市は最適です。IDSは、情報交換とコミュニケーションの理想的な基盤となります。若い技工士のコンクールである、ギジ賞をめぐって競うデンテクニカ・フォーラムや、国際歯科技工士フォーラムは、技工士の世界では他に比肩するものがない、大きなハイライトとなっています。これに加えて、Q-AMZという新しい統一ブランドを、歯科技工士専門事業所の包括的な品質概念として、業界全体に浸透させる事ができました。歯科医は、近くの歯科技工所が、豊かな経験と組み合わせ、あらゆる歯科技術のソリューションを提供している事がわかります。」

IDS2007の記録的な成功 データー一覧

IDS2007 第32回国際デンタルショー（ケルン開催）は、ビジター数、出展企業数、展示面積全てにおいて、これまでの記録を塗り替えました。展示面積13万㎡（2005年：10万7000㎡）の展示フロアに、54カ国から1742社（2005年：48カ国1542社）が、歯科業界全体から、最新の製品やアイデアを展示しました。そのうちドイツの企業は664社で、外国からは1078社が参加しました。ドイツを除いて最も参加企業が多かったのはアメリカで186社、イタリアが178社、スイスが69社でした。出展企業に占める外国企業の割合は62%でした。

最終日の推計を含め、国際デンタルショーを訪れたビジター総数は150カ国からの約10万人*になりました。このうち約35%は、海外からの来訪者でした。ビジター総数は、2005年に比べて約6%増加しました。外国からのビジターは12%増加しました。最も出展が多かった製品分野は、歯科用の特殊機器、歯科医や歯科技工士のための器具類、歯科用材料、補助材、あるいは歯科技工士用機器、消毒用機器とその付属品、さらに工具やサービスなどでした。ここに挙げた全ての数字は、ドイツ見本市自主統計協会（FKM）のガイドラインに沿って算出し、会計士のチェックを受けています。（www.fkm.de）

2009年には、第33回IDSがケルンで開催されます。会期は、3月24日（火）から28日（土）です。専門的な併催プログラムは再び、ドイツ歯科技工士同業組合（VDZI）フランクフルト（<http://www.vdzi.de>）と、ドイツ連邦歯科医師組合（BZAK）ベルリン（<http://www.bzaek.de>）が主催します。

注： * 2005年の集計データと異なり、この数字には、異なる日に複数回見本市を訪れたビジターが含まれています。計算方法は見本市業界で国際的に使われ、ドイツではドイツ見本市自主統計協会（FKM）が管理する、標準的方法を採用しています。なお、2005年度のビジター総数は、新計算方法では9万4000人となります。

連絡先：

ケルンメッセ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル9F

TEL: 03-5405-2202 FAX: 03-5405-2203

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp